

2022 年度 第 13 回定例理事会議事録

日 時:2023 年 3 月 16 日(木) 13:30-15:30

場 所: ピアマリン 1 階 日本人会ミーティングルーム (Web 参加あり)

会議出席者:(理事) 青木、権田、羽賀、野口、武石、渡辺た、須永、パサワー、八巻、スミス、山口、
柴垣、井上

※リモート参加 佐藤、金澤、大村、渡辺な

傍聴: 事務局 2 名

議 題:

1. 活動報告

(1)総務部(羽賀部長)

・2022 年度総会について

- 前回の日本人会理事会で承認された通り、2022 年度(第 52 回)グアム日本人会総会は、2023 年 4 月 21 日(金)17:00~18:30 に Hilton Guam Resort & Spa Ball Room にて開催予定。
- 予定費用は\$2,775(会場費 \$2,375、理事記念品 \$400)。承認を頂きたい。
⇒日本人会理事会で予定費用\$2,775 が承認された。
- 同日中同場所 15:00~16:30 に第 14 回日本人会理事会も開催予定。
- 新旧理事監事懇親会は同場所アイランダーテラスにて開催予定。尚、経費削減の為、参加者全員の費用は個人負担とする。

・<質疑応答・意見>

・理事記念品はどのようなものを贈る予定か。

→昨年はクリスタル時計。3 年間理事を続けた方は社名+個人名、途中交代は社名のみ。

⇒記念品の物価が上がっている。経費削減の観点も含めて、見栄えが良くてリーズナブルな物を選んでる。

・会則の改正について(第十二条 監査について)

- 前回の日本人会理事会で、島外サポーターの件と理事の人数の件については承認済みであるが、監事の方々が両名とも欠席であった為、監事の任期に関する項目は保留となっている。
- 今回の日本人会理事会で、グアム日本人会 会則第十二条(監査)の項目に「法人会員から選出された監事については「連続 3 機を限度」の準用範囲外とする」という文言を追記したい。改正を行うにあたって、二大監査法人が 1 社となったことが背景にある。新監事を選出するにあたり、旧監事を出した企業からも再び監事を出してもらえるようにすることを意図している。尚、監事を出した企業に変更はなくても、個人(一般会員)は必ず交代することとする。

・<質疑応答・意見>

・今回追記された文言では、監事を出した企業に変更はなくても、個人(一般会員)は必ず交代するという事は読み取れないのではないか。

→会則の文言を増やしすぎると様々な解釈を行うことができ、良くない為、個人(一般会員)は必ず交代するという事は今回の議事録に残すことにする。

⇒グアム日本人会 会則第十二条(監査)の改正がグアム日本人会理事会で承認された。

・会則の改正について(文化部和商工部の合体について)

- 文化部和商工部を文化・商工部という1つの部にすることは、前回の日本人会理事会で概ね了解を得ていたが、グアム日本人会 会則上でも正式に1つの部としたい。

・<質疑応答・意見>

・文化・商工部とした場合、文化・商工部の部長の下には多数の理事が所属することになる。アートアンドクラフトの再開といった文化部の活動に加えて、商工部のイベントの取りまとめまで行うことになる。管理業務が多くなるが問題ないか。

→イベントの開催については部の状況も鑑みて、次年度の理事会で話し合ってもらおう。

→過去を振り返っても、各部のあり方は多々変更されている。文化・商工部の体制に無理があれば、次期の理事会で変更することも可能。また、イベントに関しては、秋祭りと同様に、部の枠にとられることなく、理事全員で協力して取り組むことも可能。

・文化・商工部の活動内容の中に「婦人部(Japan Women's Club)はこの部の活動に含まれる。」という文言があるが、婦人部は今はない。これはどういう意味か。

→過去にあった婦人部の活動が文化部に吸収されたという経緯がある。

⇒グアム日本人会 会則上でも文化部和商工部を1つの部とし、文化・商工部とすることが日本人会理事会で承認された。

・会費収入は昨年\$62,000 に対して、今年は\$57,000 と伸び悩んでいる。しかし、会員数は昨年よりも増加しているのはなぜか。

→大口の法人会員が減少したこと、売上が多い会員企業が減少した為。

・新年祝賀会は予算と比較すると費用が\$5,000 増加しているのはなぜか。

→総領事館の共催による費用分担(\$2,000)が考慮されていない。実質は\$3,000 増であり、今回設立 50 周年記念式典も兼ねたため、参加者数も増加させている。また設備・備品代も掛けており、更には1名あたりの飲食費の単価も近年の物価上昇を踏まえ増となっている。

・支出権限規定の策定をお願いしたい。現状日本人会では1円の支出でも日本人会理事会の承認が必要となる。効率面を考えて役職による権限規定を設けるべきだと思う。

→以前は各部長に権限があった年もあったが、いつの間にかなくなっている模様。可能であれば、たたき台を作って次年度の理事会に引き継ぎたい。

(2) 50周年記念事業部(野口部長)

・50周年記念誌発行の進捗状況について

- 3月15日までに最終の編集・校正を行った。
- 印刷業者は4社から見積をとって入札を行い、最安値のトロピカルカラーに発注することが決定した。
- 3月末までに印刷を完了させ、4月頭にJAL便にてグアムへ搬送予定。尚、JAL便での搬送について、昨今の情勢を踏まえて無料での搬送は難しいが、通常より安く、実費で請け負うことは問題ないとの回答を日本航空から頂いている。
- 50周年記念誌関連費用として、デザイン料 \$8,000(LEAP社)、印刷料 \$3,000(トロピカルカラー)、日本からの搬送料 概算\$1,000(JAL)の承認をお願いしたい。
*搬送料は約600ドルと見込まれるが、予算枠として\$1,000を承認して頂き、実際の支払いは実費に基づいて行う。

・<質疑応答・意見>

- ・印刷業者4社の入札結果を開示頂きたい。また、札を開けたときに監事は立ち会っているのか。
→監事の立ち会いはなし。印刷業者のそれぞれの見積金額は、アクアマインド社 \$4,620、緑印刷(日本の業者) ¥630,300、LEAP社 \$3,100、トロピカルカラー \$2,800(台湾での印刷の場合)、\$3,000(日本での印刷の場合)であった。
- 冊子の紙質はどのようなものか。
→30周年記念誌と同じ。
- ・JALでの移送費用はおおよそいくらか。
→600ドル位となる見込み。
⇒50周年記念誌関連費用が日本人会理事会で承認された。

(3) 渉外・広報部(パサワー部長)

・<質疑応答・意見>

- ・秋祭りの時にPDNのカラー刷りが出来ず、白黒での発行となった。この際のクレジットは現状どうなっているのか。
→PDNから書面にてクレジットの確認ができています。内容はフルカラー、フルページ(12×9)、通常料金 \$1,800/回を3回分。現状の有効期限は2023年3月末となっている為、延長のお願いを行う予定。
- ・SNSのチェックについて、自社のルールがある為、ご参考までに後ほど共有させて頂く。そのルールでは、地図の掲載が不可であったり、特定の日付に関する記事を掲載する際には、その日がどのような日であるのかを必ずチェックするといった項目がある。SNSは一度炎上すると事態を収集することが非常に大変である。
- ・ホームページの掲載原稿は理事のチェックがあるのに、インスタ・Facebookの掲載原稿には理事

のチェックが入らないのはなぜか。

→現状は渉外・広報部、総務部でチェックを行っている。今後は理事全員にチェックを行ってもらおう。

→インスタの掲載原稿は、某 J 社では非公開アカウントを作成して行っているが、原稿内容をエクセルに落として、事前確認のために理事に共有することが可能。

→炎上を防ぐためには色々な人の目で見たほうが良いと思う。

・日本人学校の先生の求人広告は、日本人会ホームページに無料で掲載しないのか。

→グアム日本人会理事会の承認があれば、いつでも掲載することは可能。

⇒事務局に貼ってあるポスターレベル(ホームページ掲載の為に新たなデザイン料が掛からないレベル)で、且つ、求人広告掲載欄に空きがある場合にのみ無料で掲載を行うことが日本人会理事会で承認された。

(4)文化部・商工部(須永部長、渡辺部長)

・<質疑応答・意見>

・日本人会バザーの開催会場は、対象を誰とするのかにも関係するが、無償の施設(日本人学校体育館など)を利用すべきではないのか。

→過去に来場者を限定することができない会場で開催した際にトラブルもあった為、対象者がある程度限定できるホテルなどで開催したいと思っている。

→来場者を限定できない場所で開催した方が売上は上がるかもしれないが、日本人のコミュニティの向けに開催するのが前提である為、ある程度来場者を限定できる場所を選定している。

→日本でのバザー開催の記事をブログ等で調べると、一般的には7から8カ月掛かるようである。段取りにどれだけ掛かるのかを整理しておく必要がある。

→グアム日本人学校の蚤の市は日本人学校コミュニティに対して案内を行って開催した。グアム日本人学校と合同で開催すると準備の工数も減るのではないのか。

→NPO 団体が物を売るのは基本的に NG。税金の面などもクリアにしておく必要がある。

→秋祭りでは GRT の免除申請を行っている。

→税務署に口頭レベルで確認を行ったところ、チケット制であれば、物の販売も問題ないとのことであった。

(5)青年部(武石部長)

・秋祭りについて

➤ Slack の有料版について、運営側に安価にデータをキープする方法を問い合わせたが、具体的な策は提示されなかった。については、秋祭り資料は紙ファイルと USB で次期日本人会理事会に引き継ぎ、来年度の対応をお願いしたい。

➤ グラスツールに関して、秋祭りに日本の花火師を呼び、日本の花火を上げたいという提案書を提出したが、本省却下との連絡があった。については次年度の日本人会理事会に代替案を

練って頂きたい。

・<質疑応答・意見>

・グラスツールの申請期日はいつまでか。

→JCEG の時は夏ごろに予算が取れた。

→約 2 カ月前くらいに申請を行えば予算を確保することができるのではないか。

(6)教育部(権田部長)

・グアム日本人学校定例理事会の報告

・<質疑応答・意見>

・2023 年度の予算について、キャッシュフローベースだと\$190,000 のマイナスになっている。予算通りとなった場合、現金残高の約 3 分の 1 がなくなることになる。これは学校経営を考えていく上でいかがなものかと思う。日本人理事会としてどのように取り組んでいくのか真剣に考えていかなければならない。

→この予算作成にあたって、当初は授業料等に関する収入を目標ベースで入れていたが、今は現実的な入学人数から算出される数字で入れている為、厳しい数字になっている。

→2023 年の予算には日本人会からの寄付は見込んでいない。

→2021 年度は寄付ありきで黒字となった。

→そもそも学校運営は寄付を前提として成り立つのかもしれない。そうであれば、寄付を募る体制を整える必要があると思う。今年度で日本人会理事会を離れることにはなるが、来期はグアム日本人学校理事会の一員として、学校経営の改善に貢献できるように頑張りたい。

・日本から赴任される文科省下の先生方には運営に関する権限はなく、補習授業校と現地採用の先生方にしか権限はない。本来であれば全日制の校長先生に率先して問題解決に取り組んで頂きたいが、権限がないので日本人会理事会に率先して行ってもらいたい。

→規定上は日本人会理事会にも権限はないので、学校理事会で取り組むしかない。しかし、難しい課題である為、真剣に取り組むのであれば弁護士、会計事務所を利用するしかない。

・新任の先生や理事に、グアム日本人学校の目指す像を共有し、学校規則、就業規則を説明し、チームビルディングを行うオリエンテーションを 4 月 21 日(金)に学校を休校にして、学校理事会と先生方で実施予定。グアム日本人学校は私立学校であり、日本の公立学校とは違い、働くにあたっては経営感覚も必要となることや、一つの傘の中に二つの学校があることなどを理解してもらう予定。

→学校の支出に関して、新任の呼び寄せ先生方のビザ代(\$7500)が発生することと、給与改定に伴って人件費も増えた。

→建物老朽化に伴い、その場その場の修繕を行っていくのではなく、中長期の補修計画が必要となっている。

→グアム日本人学校現地採用の方々の給与に関して、一般職員は据え置き、補習授業校の先生は 10%昇給を目指したい。今まで一般職員は過去 20 年間で約 45%上がっているのに対し、補習授業校の先生方の給与は上がっていない。グアムの市場に目を向けると、物価指数は約 1.9 倍に

なっており、最低賃金が 1.8 倍になっている。このような状況下で補習校の先生は過去 20 年賃金が変わっていない。感覚的な問題ではあるが、事務局と直接顔を合わせる全日制の先生方の給与は上がって、土曜日にしか学校に来ず、普段事務局と顔を合わせる機会の少ない補習授業校の先生の上がっていないように思われる。このような状況はいかかなものか。

→この昇給の問題に関して、補習校ではプロセスの見える化を行い、12 月末から 1 月頭にかけて、先生方に目標シートを作成して頂き、それに沿って面談を行った。その面談で目標が達成できていることが確認できれば給与を上げた。

・全日では、理事長、校長が教諭と一緒に面談したが、校長がいると言いたいことが言えない等、改善が必要。全日の先生の面談結果はシェアされておらず、来年度の給与レベルも比較対象がなく、曖昧な形で決まっているので、改善が必要。

・権田教育部長が、職員との面談を実施はしているが、来年度給与案に関しての提示はまだない。

→今まで曖昧にになっていたところが見える化してきたので、今後も働きやすい職場を目指して活動して欲しい。

→面談は年 1 回ではなく、2 回行ってほしい。2 回行った方が先生方の取り組み等がより見える化し、先生方もより気が引き締まると思う。

(7) 会計部(八巻部長)

・2022 年度活動予算実績について

- 2023 年 2 月 16 日時点で収入が\$359,000、支出が\$292,000、利益が\$67,000 である。収支が黒字になっている主な要因は秋祭りからの利益である\$75,000。
- 今年度では 50 周年記念事業の部分の数字で少し動きがあるかもしれない。
- 秋祭り、50 周年記念事業、アートアンドクラフト開催に伴って募ったスポンサー収入の各担当部への振り替えは 3 月度で実施予定。尚、文化部への収入(アートアンドクラフト等)に関しては今年度は実施しないので、学校への寄付に含めることが前回の理事会にて確認されている。
- 新年会での募金活動で\$576、領事館からの共催費用負担分\$2,000 の収入があった。

・<質疑応答・意見>

・ホームページの更新代が費用として計上されているが、資産として計上すべきではないのか。

→一度確認を行う。

・1 月に同費目から\$350 の支出があるが、内容は何か。

→サーバー管理費用としてリープ社へ 350 ドル支払ったもの。初年度は無料で対応して頂いていたが、2023 年 1 月からは対応して頂いた都度、費用を支払っている。

・DONATION TO GNG-PLANT FUND の項目で、1 月にマイナス\$572 の記帳があるが、内容は何か。

→新年会での募金が入金された際の仕訳であるが、新年会の収入として含めるべきである為、3 月度で修正を行う。半分は学校寄付、半分は 50 周年記念事業に振り替えを行う。

・秋祭りで得た\$53,000 はグアム日本人学校へ寄付を行う。グアム日本人会理事会としてグアム日

本人学校を支えていかなければならないが、グアム日本人学校には自助努力もして頂き、グアム日本人学校以外の学校にも寄付を行うことができる体制を整えることができればと思う。

・青年部秋祭り\$53,000 と文化部の寄付について、3 月に実際に寄付を行うのではなく、体育館建設に伴う借入金に対して、銀行から早期返済を求められた時に備えて、グアム日本人会で貯めておくのも一案である。

(8)その他

・名誉会員と感謝状贈呈者の選定について

- 会員からの推薦状に基づき、グアム日本人会理事会で全員に承認されれば名誉会員として認められる。
- 山野井氏には事務局の賃料を昨年度更新時にも無料にして頂き、金銭面でグアム日本人会に大きく貢献して頂いている。
- 遠山氏にはグアム日本人会発足当初から50年の長きに亘って、日本人会の活動に携わって頂いており、秋祭りでは食品チームの担当として、また、今でもグアム日本人学校の子供たちに神輿などについて教えて頂いている。
- 坂元氏には秋祭りに伴う政府申請関連業務やロータリー活動などに精力的に尽力して頂いている。日本とグアムのコミュニティをこれ以上深く結び付けて頂いている方はいない。
- 基準を作るという意味では感謝状を渡して、次のステップとして、さらに感謝を示すということで名誉会員になって頂くのが良いのではないか。
- 今年度の総会では山野井氏、遠山氏、坂元氏に感謝状をお渡しする。

・総会資料の締め切りについて

- 3月31日(金)を締め切りとする。資料は動画でも可能。

・島外サポーター会員について

- 日本にはグアム好きは沢山いるので、グアム日本人会のホームページに名前を載せることや秋祭りの情報を提供することなどを特典とし、島外サポーターの人数を増やすのも一案ではないか。

→現状、まだ立ち上げ期でもあり、コンタクトのとりやすさなども考慮して日本人会との関係性が一定以上あった方を対象とすることが望ましいと考えていることから、島外サポーター会員の資格は元グアム日本人会会員という括りにしている。やがて島外サポーターの人数が増え、日本で島外サポーター会員の支部的な集まりなどが発足したりすれば、将来的に元会員のくくりを外し、上記のような活動を行うことも一考の余地がある。

(9)総括(青木会長)

・今年の理事会はメンバーにも恵まれ、1年間非常に楽しくやってこられた。コロナ明けの3年ぶりの活動も多々あったが、全ての活動が上手くいった。グアムを離れられる為、来月の総会に出れられない方が3名いらっしゃる。最後にご挨拶を頂きたい。

・グアムを離れられる3名の理事の方からご挨拶があった。

次回の理事会は4月21日(金)15時から(Hiltonにて)

以上